

第8回 市民の声を聴く会 提言に対する回答

公共施設内のWi-Fiの普及について

(要旨)

市内公共施設でWi-Fiを使えるようにしてほしい。

(対応) 総務文教常任委員会で協議。

Wi-Fiの整備につきましては、インバウンドの増加、市民活動の活性やまちなかの賑わいづくりなどに大変重要であると考えております。このことから、千歳市が管理する公共施設の中で、一般的に多くの市民が利用する、集会施設やスポーツ施設、レクリエーション施設、観光施設、文化施設、医療施設、学校等59施設と市内エリアについて、Wi-Fi整備の現状と今後の見通しなどについて調査を行いました。

これらの施設におけるWi-Fiの整備は、市の施設の管理運営を担う指定管理者の自主事業の他、基本的に災害時の情報発信などを目的に整備し、平時には一般の方々へ開放するとの位置付けとなっております。

その結果、市役所を始め、スポーツセンター、武道館、千歳水族館、市立図書館、市民文化センター、防災学習センター(防災拠点としての性質上、必要に応じた時のみの開放)の7施設にはすでに整備済みであります。

この他、千歳駅からグリーンベルトを含む、もりもと交差点までのエリアと支笏湖温泉エリアにも公衆Wi-Fiが設置され、どなたでも利用が可能となっております。また、埋蔵文化財センター、市民病院、支笏湖・泉郷診療所の4施設と24の小中学校には、今後、整備を行う予定であります。

更に、ポロピナイ休憩所・幌美内園地エリアは、今後の検討を考えているところであり、環境省所管のモーラップキャンプ場は環境省と共に設置可能性について検討するなど協議をしているとのことであります。

福祉センター、休日夜間急病センター、温水プール、市民ギャラリーの4施設には設置はなく、今後の予定もありませんでした。その要因としては、温水プールと市民ギャラリーにおいては、指定管理制度による指定管理者の自主事業の範囲となっていること、また集会施設の12のコミュニティセンターは、予算確保が課題となっていることなどが挙げられておりました。

調査の結果、59施設のうち、市内中心街エリアと支笏湖周辺エリアにおいて35施設が整備済み、整備予定及び検討中であり、多くの方が日常的に利用する範囲には、概ねWi-Fi利用が可能と判断しております。さらに、今後も順次Wi-Fiの整備が進む見通しであります。

また、その他の未整備施設につきましては、施設の性質やWi-Fi整備に関する需要の度合いや緊急性、財政的な負担面等の観点から、今後も注視してまいります。